

気象集誌特別号

「Weather and environmental studies using the geostationary meteorological satellite Himawari-8 (静止気象衛星「ひまわり 8号」を用いた気象・環境の研究)」

論文募集のお知らせ

気象集誌特別号編集委員会

2014年10月に世界最高の性能を有する静止気象衛星「ひまわり8号」が打ち上げられ、試験運用期間を経て2015年7月から定常運用に入った。「ひまわり8号」に搭載されているイメージャ AHI は観測波長 16 バンドを有し、可視バンド 0.5km, 赤外バンド 2km の空間分解能で、全球を 10 分ごとに、特定領域を 2.5 分ごとに観測できる。このような新世代の静止気象衛星の観測により、気象学や気候変動・環境変化の研究が大きく進展することが期待できる。衛星の定常運用から 1 年が経過し、世界中の研究者が観測データを利用するようになってきた。この機会をとらえて、「ひまわり 8号」および他の静止気象衛星等の観測データを用いた研究成果を取りまとめ、国際的に紹介することにより、気象学や気候変動・環境変化の研究の発展に資することを期して、気象集誌で特別号を発行する。

この特別号「Weather and environmental studies using the geostationary meteorological satellite Himawari-8 (静止気象衛星「ひまわり 8号」を用いた気象・環境の研究)」に掲載する論文について、以下のように募集する。

対象とする研究分野

静止気象衛星「ひまわり 8号」の観測データ、および他の静止気象衛星の観測データを用いた気象学や気候変動・環境変化、およびその関連分野に関する研究成果の論文を募集する。具体的には、

- ・観測データの検証結果
- ・位置合わせ・校正・品質管理手法の開発
- ・物理プロダクトやデータ解析のアルゴリズム開発
- ・観測データや物理プロダクトを用いた解析的研究
- ・数値モデルと観測データを組み合わせた研究、等

「ひまわり 8号」の観測データで代替した、他の新世代静止気象衛星のための研究成果も歓迎する。

投稿要領：

投稿論文は、初出または他に投稿中でないものとし、査読を受けるものとする。その他、論文のスタイル、投稿料なども、気象集誌通常号に準ずる。論文は、気象集誌オンライン投稿システム <https://mc.manuscriptcentral.com/jmsj> から投稿することとする。著者は、

当該システムにログイン後, “Author”ボタンを押し, “Author Dashboard”から, “Start New Submission”を選択し, “Begin Submission”ボタンを押すと, “Step 1: Type, Title, & Abstract”のページにたどり着く. そのページの最後で, ”special issue”とプルダウンメニューの”Himawari”を選択していただきたい. 詳細な投稿要領は, 気象集誌のホームページにある <http://jmsj.metsoc.jp/instructions.html> を参照いただきたい.

スケジュール (予定) :

論文募集締切 : 2017 年 4 月 30 日

印刷・刊行 : 2018 年 4 月

特別号編集委員会 :

編集委員長 早坂忠裕 (東北大学)

編集副委員長 増永浩彦 (名古屋大学)

編集事務局長 別所康太郎 (気象庁)

編集委員 江淵直人 (北海道大学)

Kenneth HOLMLUND (EUMETSAT)

久慈誠 (奈良女子大学)

三好建正 (理化学研究所)

中島孝 (東海大学)

沖理子 (JAXA)

Byung-Ju SOHN (ソウル大学)

Tim SCHMIT (NOAA/NESDIS)

吉崎徳人 (気象庁)

連絡先 :

Email : jmsj.himawari8@gmail.com